

令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討する力が身に付いている。
- 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力が身に付いている。
- 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることに課題がある。

【算 数】

- 平行四辺形の性質を基に、作図する力が身に付いている。
- はかりの目盛りを読むことができる力が身に付いている。
- 基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて表現することに課題がある。
- 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることに課題がある。

【理 科】

- 理科で学習したことと関連付けて、氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理解がよくできている。
- 土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、実験の方法を発想し、表現する力が身に付いている。
- 乾電池のつなぎ方の実験や顕微鏡を使つての観察の技能に課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 話し合い活動を通して、自分の考えを友だちに表現する力が身に付いている。
- 自分のよいところやできていること等、自分を肯定的に捉えようとする意識がある。
- 将来に希望をもったり、人の役に立ちたいと思ったりする意識に課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・国語科、算数科において定着が不十分だった児童への個別指導
- ・理科において、実験方法を自ら計画し、自己選択・自己決定の場を設定した授業構成
- ・全校での授業改善の推進(学級づくりと個別最適な学びを両輪とした学習指導)

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・算数科において、意味理解の定着に向けた説明、表現の場を位置付けた授業づくり
- ・安心して学べる(考えを表現することができる、人の話を受け止めることができる)学級づくりの充実

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・自己肯定感を向上させることを目的とした行事の後に行われる相手のよさを伝え合う取組(ハートキャンペーン)
- ・タブレットを活用した表現方法の工夫をした授業構成

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・総合的な学習の時間や生活科におけるキャリア教育や地域との関わりの充実
- ・人の役に立つよさや喜びを実感できる委員会活動や係活動での価値付け